

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
九州厚生年金病院 駐車場棟 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・遅延制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 タニコカビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
2.1 耐震・免震								
1 耐震性								
2 免震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
6 主要設備機器の更新必要間隔								
	消火設備(25年)							

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	-
1 空調・換気設備			-	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備			-	-	-	-	-
3 電気設備			3.0	0.50	-	-	-
4 機械・配管支持方法			-	-	-	-	-
5 通信・情報設備			3.0	0.50	-	-	-
3 対応性・更新性			2.6	0.48	-	-	2.6
3.1 空間のゆとり			1.0	0.31	-	-	-
1 階高のゆとり			1.0	1.00	-	-	-
2 空間の形状・自由さ			-	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.7	0.38	-	-	-
1 空調配管の更新性			-	-	-	-	-
2 給排水管の更新性		構造部材、仕上げ材を痛めることなく修繕、更新できる	5.0	0.23	-	-	-
3 電気配線の更新性		構造部材、仕上げ材を痛めることなく修繕、更新できる	5.0	0.15	-	-	-
4 通信配線の更新性			-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.31	-	-	-
6 バックアップスペース			3.0	0.31	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率照明の設置	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=62.5%	5.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21	-	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生クラシャラン	3.0	0.21	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別可能、錯綜しない	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-
3 冷媒			-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		高効率照明の設置	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		燃焼設備なし	5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		駐車場の確保、出入りのしやすさ	3.0	0.50	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.50	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	-
1 騒音			-	-	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	-
1 風害の抑制			-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	1.00	-	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.33	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策、広告照明の配慮の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	-
2 曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-